

令和2年度 鶴ヶ谷ことぶき大学 第1回 開講式

日時：令和2年9月16日（水）10:00～11:30

会場：1F ホール 参加受講生：53名

講話「笑って♪話して♪元気になる♪スマイル講座」

対人力アップ・コミュニケーション講師 / 高野 真弓 氏

新型コロナウイルス
感染拡大防止の為
開催を見合わせておりましたが、
4か月遅れで無事開講できました。

祝
開講

館長挨拶では
コロナ禍での
ことぶき大学開催にあたり
ご理解とご協力を
お願いしました↓

女性と男性とでは1日の言語数が3倍違うそうです！
上手な相槌が家庭円満の秘訣？↓

受講生の アンケートより

↑口角を上げ口を横に開いて喋ると
好印象を与える声になりますよ♪
具体的な先生のアドバイスを早速実践！
会場が和やかな空気に包まれました☆

↑タダで出来る施し…
その名は「和顔施」
笑うと幸せホルモンも
分泌され徳も積めて
一石二鳥なのです！

*コロナ、マスク・コミュニケーション会話等、悩んでいました。

先生のお話で大分気持ちの変化を感じました。

*コミュニケーションのコツを教えていただき、大変良かった。実行したい。

*幼い時、母がよく言っていた言葉「笑顔でいなさい」年令を重ねるにしたがついてつい忘れがちになっていた。この講座を聞いて改めて、笑顔の大切さに気がつきました。これからは口角を上げ、笑顔で人と接していこうと思います。

*笑顔=運が開ける！おしゃべり=ストレス解消！心がけてみます。

*「一日一笑」夫との2人の生活のなかで忘れがちだが、忘れずに心掛けていきたいと思います。自分も幸せ、相手も幸せになれるかなア～

*大変参考になりました。

コロナ禍の中毎日不安でしたが、
今日のスマイル講座に一日を楽しく
暮らして行ける事確信出来ました。

先生の明るいお人柄と
楽しく納得のトークで
受講生の皆様も笑顔※満開※
素敵なスタートとなりました♪



令和2年度 鶴ヶ谷ことぶき大学 第2回

日時：令和2年10月28日（水）10:00～11:30

会場：1F ホール

参加受講生：45名

講話「西洋音楽を映像・音源から学ぼう」



宮城大学客員教授・宮城教育大学名誉教授 / 渡部 勝彦 氏

♪鑑賞リスト♪

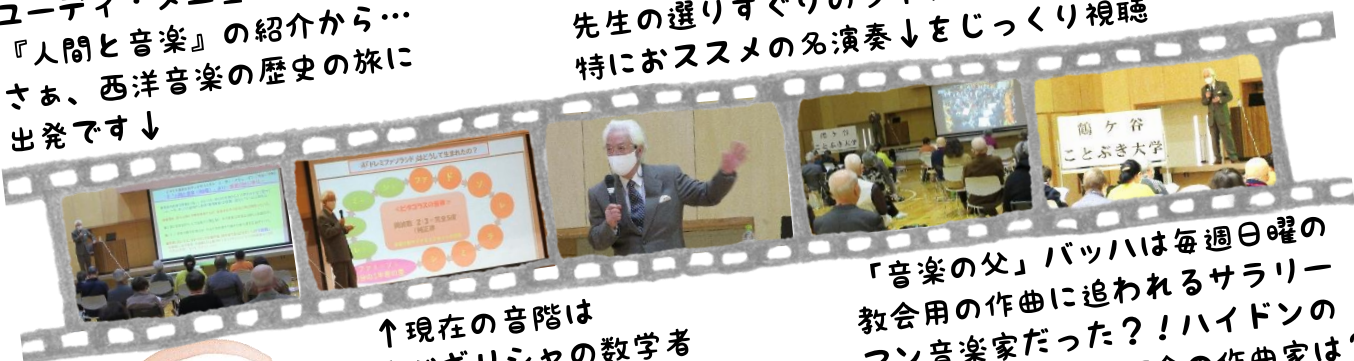
- ①グレゴリオ聖歌「聖母マリアの浄配/証聖者ヨゼフのミサ」
- ②ヴィヴァルディ作曲：ヴァイオリン協奏曲「四季」より「春」
- ③バッハ作曲：「ブランデルブルク協奏曲第1番」



- ④バーンスタイン「古典派音楽ってなに？」
- ⑤ハイドン作曲：交響曲第45番「告别」
- ⑥ベートーヴェン作曲：交響曲第5番「運命」

導入は
名ヴァイオリニスト
ユーディ・メニューインの
『人間と音楽』の紹介から…
さあ、西洋音楽の歴史の旅に
出発です↓

先生の選りすぐりのライブラリの中から
特におススメの名演奏↓をじっくり視聴



受講生のアンケートより

↑現在の音階は
古代ギリシャの数学者
ピタゴラスが発明した？！
初めて音楽の原点に触れた方
が多数でした

「音楽の父」バッハは毎週日曜の
教会用の作曲に追われるサラリー
マン音楽家だった？！ハイドンの
奥方は…！本当に短命の作曲家は？
ユーモアあふれるこぼればなしも
楽しいひとときでした↑

- *西洋音楽について、大学教授からの専門的な内容を教えていただき、大変良かったと思います。映像と音楽が、すてきでした。
- *何気なく口ずさんでいる音楽も、問いつめて行くと深い歴史がある。今日はめったに聴くことのできない西洋音楽の歴史を学ぶことが出来た。特に音階の誕生、経緯、西洋音楽の起源、楽譜の進化、合奏の誕生、等々これまで聞く機会がなかった、とても良い知識を得ることが出来た。楽しい音楽も聴くことが出来た。
- *本日はコロナ禍の日々久し振りにゆっくり名曲を学び、聞き、心が洗われました。学びながらの数々の名曲、初めての体験ですが古典派の音楽、大好き！
- *とても興味深かった。音符の発達でいろいろな作曲家が出てきて、今現在の私達が音楽を楽しませてもらっている事に感謝。
ベートーヴェンの『運命』良かったです。
- *音楽の歴史やクラシックとはなんぞやなど貴重なお話が聴けて大変素晴らしい内容でした。

聴いて心地良いだけではない！
先生の軽快なトークに導かれ
受講生の皆様も音楽の奥深さに
触れる機会となりました♪

令和2年度 鶴ヶ谷ことぶき大学 第3回

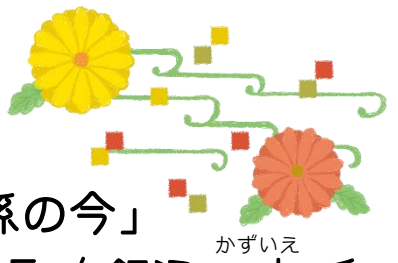
日時：令和2年11月11日（水）10:00～11:30

会場：1F ホール

参加受講生：44名

講話「祖父飯沼貞吉の事績と奇跡、そして孫の今」

東北大学名誉教授・認定NPO子どもの村東北理事長 / 飯沼 一宇 氏

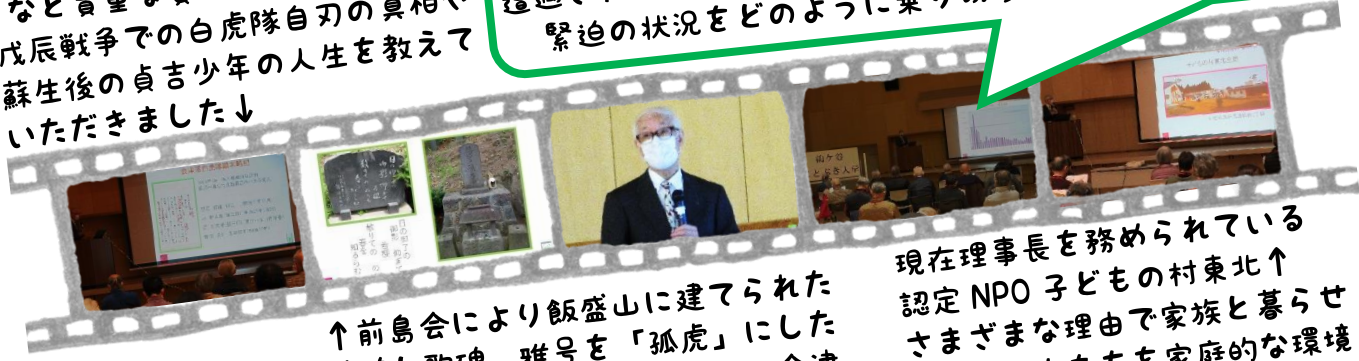


かずいえ



飯沼家所蔵の「会津藩白虎隊頼末略記」など貴重な資料も公開いただき戊辰戦争での白虎隊自刃の真相や蘇生後の貞吉少年の人生を教えてくださいました↓

講師の飯沼一宇先生は東北大学医学部教授を定年退職後、石巻赤十字病院院長に就任されて6年目に東日本大震災に遭遇されました。震災の3日後には1,250名の来院者が！緊迫の状況をどのように乗り切ったかお聞きしました



↑前島会により飯盛山に建てられた墓碑と歌碑。雅号を「孤虎」にした飯沼翁も、今は仲間とともに、会津の雪がれた「春」を喜んでいるのでしょうか…

現在理事長を務められている認定NPO子どもの村東北↑さまざまな理由で家族と暮らせない子どもたちを家庭的な環境で育てたい！との熱い思いに、胸を打たれる方多数でした

受講生のアンケートより

- * 講師の先生の祖父に当たる飯沼貞吉（貞雄）氏の数奇な運命と大きく揺れ動いた江戸，明治，大正，昭和の時代の推移に大きな感銘を受けた。やはり，人材は1人でも多くなければならぬと感じた。
- * 飯沼貞雄氏の運の強さ，会津の藩の意識が歴史を作った土台になっていることを知りました。又，災害時の医療者の皆様の働きを改めて知り，頭が下がりました。
- * 飯沼貞雄氏の墓は輪王寺にあって行ったこともあるが，もっと仙台市で宣伝しても良いのではないか。
- * 白虎隊でただ1人の生き残りと言う数奇な人生を送った飯沼貞吉氏，残りの人生を国の為，人の為尽くした生涯，素晴らしかったです。お孫さんの飯沼先生も祖父の生き様や教えを守っているのでしょうか，人々の為，子どもたちの為，素晴らしい活動をされており尊敬致します。

忠烈果敢な白虎隊、通信事業に挺身した貞雄氏、医学を究め今なお未来ある子どもたちのために力を尽くす一宇氏。清廉にして高潔に生きるとは？ 思いをはせるひとときとなりました。